

今後の予定 など

西原村での炊き出し活動継続について（NPO法人西原たんぽぽハウスさん）

4月14日に地震が発生し、16日から支援活動を開始しました。当初は緊急支援という目的で行ったものの、被害の全容が明らかになるにつれ、継続的な支援活動が必要と判断されています。そんななか、偶然にもご縁のあった地域のみなさまを応援することが、もっとも効果的な支援につながると考えています。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊では、その後、日本財団からの助成を受け、追加の炊き出し材料の支援を決定いたしました。炊き出しを行っている、NPO法人西原たんぽぽハウスのみなさんと相談しながら、今、誰に、どのような支援が必要なのかをよく検討して、活動していきたいと思っております。ボランティア活動をしていただいているみなさんにもご利用いただける「西原 絆・食堂」、子どもたちだけでも食事ができる「西原 子ども食堂」などが動き始めています。今後もみなさまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



埼玉から麵's パワーで益城町へ炊き出し！

埼玉県内の人気ラーメン店や、居酒屋、鍼灸整骨院など、異色のメンバーが立ち上がり、益城中央小学校卒業の川北誠治君を応援しつつ、埼玉麵's パワーを熊本へ届けます。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊も異色では負けません。すでにチャリティ企画や、現地拠点設置のための第一弾炊き出しを実施済みです。みなさまからの応援・ご支援をいただきながら、主に益城町の小学校などで、子どもたちに元気なラーメンパワーを注入します！また、鍼灸整骨院のみなさんが、避難生活を送る皆様へマッサージのボランティアへ伺います。活動報告は今後のゆめうたニュースでご報告いたします！

南阿蘇村でがれき撤去作業・農業支援

甚大な被害を受けた南阿蘇村では、大量のがれきが残されています。山道が多く、土砂崩れもあちこちで発生しています。立ち入り制限される半壊・全壊の建物が、いつまでも放置されています。さいたま市に拠点をおくNGOアジア&アフリカ(AAA)の代表であり、近隣小学校のPTA会長を務め、かつ今川のお友達！という山崎毅史さんが、今も南阿蘇村で重機を使って作業をしています。また、災害対応に追われ、兼業の畑や田んぼに手が回らない地元の皆さんのお手伝いボランティアコーディネートもしています。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊は、南阿蘇村での活動もサポートしています。ぜひ、ご支援・ご声援、よろしくお願いいたします！



認定NPO法人みんなの夢の音楽隊 メンバー募集中

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊は、会員の皆様の会費によって運営されています。私たちの活動に賛同し、協力してくださるメンバーを募集しています！

- 正会員（総会での議決権を持ちます） 年会費 1口10,000円または月会費750円
- 個人賛助会員（ゆめうたサポーター） 年会費 1口 3,000円または月会費250円以上
- 団体賛助会員（ゆめうたサポーター） 年会費 1口10,000円
- MMCCサポーター・DAWNサポーター 年会費 1口 3,600円または月会費300円
- ゆめうたサポーター 月々100円以上の定期定額寄付（クレジットカードによる月々自動引き落とし）のご登録 ※会費・ご寄付のお支払いは、年払い一括または、クレジットカードによる月々の自動引き落としがご利用いただけます。 ※会員・寄付者のみなさまには、不定期（年2回程）でゆめうたニュースをお届けします。

お問い合わせ TEL048-783-5771 FAX048-783-5772 info@yumeuta.com 郵便振替 00160-8-352345 認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

ゆめうたニュースに関する感想・アイデア・情報等をお寄せください。お待ちしております。

認定 NPO法人みんなの夢の音楽隊

ゆめうた No.61 NEWS

2016年6月10日(第61号)

不定期(きまぐれ)発行

バックナンバーはこちら↓

www.yumeuta.com

認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

〒338-0811 埼玉県さいたま市桜区白鷺202-19

TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772

info@yumeuta.com

編集・発行 今川夏如

熊本地震、緊急支援報告 支援金のお願い

平成28年熊本地震で甚大な被害が発生しました。地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。認定NPO法人みんなの夢の音楽隊では、被災された方々を支えていくために、緊急支援活動を実施しております。皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



熊本県西原村の炊き出し支援

4月14日、16日に相次いで発生した大地震により、たくさんの方々が避難生活を余儀なくされ、各地の市庁舎でさえ倒壊の恐れがあり閉鎖されるような事態となりました。行政の機能、ライフライン、物資の流通がある程度まで確保され、ボランティアセンターなどが立ち上がるまでの期間、どうにか生き延びることが求められます。今回の緊急支援はこの期間に必要な支援を行うためのものです。

災害が発生し、行政などの機能が停止してしまった場合、それらが復旧しある程度の機能を取り戻すまでの間、民間の力で生き延びる必要があります。今回の地震では発生から約1週間、そのような状況にあったと思われます。発生から最初の1週間の緊急支援、その後の生活再建、復興への道のりを、被災された方々に寄り添いながら、お手伝いしていきたいと思っています。まずは、最初の報告をお届けいたします。また、今回行っている複数の支援活動のうち、「熊本県西原村における炊き出し支援」について、日本財団より助成を受けることができました。今号はその報告のための特集号となります。

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

熊本地震 緊急支援 活動報告

本震が発生した16日、私たち認定NPO法人みんなの夢の音楽隊と協力関係にある、NGOアジア&アフリカ代表山崎毅史さんは、ご親族の安否確認のため熊本県南阿蘇村へ向かいました。また、同氏の兄であり、今川の友人である山崎栄慈さんは、所属する全国組織の埼玉副代表として、被災地への緊急支援へ出発しました。同日中にみんなの夢の音楽隊で、支援活動を行うことを決定し、準備を始めました。

・山崎毅史 NGOアジア&アフリカ代表 さいたま市立栄和小学校PTA会長 東日本大震災等国内の災害支援だけでなく、スマトラ島沖大震災の津波被害を受けたスリランカでも支援を展開。

・山崎栄慈 天理教湘和分教会 大久保東小学校PTA会長 災害支援の専門家。国内の震災・水災害支援、秩父の大雪、スリランカ地震でも支援活動を行う。

・今川夏如 認定NPO法人みんなの夢の音楽隊理事長 神田小学校PTA会長 桜区PTA連合会会長

■ 4月21日(木)

前日までに、現地にいる2名と相談し、西原村への炊き出し支援のほかに、主要道路が断絶され、極端に物資の少ない南阿蘇村へ物資を輸送することを決定。山崎毅史(以下毅史)が南阿蘇の役場と調整し必要な物資を確認し、山崎栄慈(以下栄慈)が福岡県内の協力者を通じて物資の調達を準備し、朝一番で福岡入りした今川と合流。前日に確認した要望のある物資のリストに女性用下着とあり、現地協力者も含めて動揺が広がる。覚悟を決め物資調達へ向かい、電話で要望物資の最終確認を行うと、下着到着とのごとでいろいろな意味で安堵する。主に、雨対策の土嚢袋とブルーシート、それに医薬品が不足している。また、避難者からトイレ用消臭スプレーの要望などあることを確認し、南阿蘇村内22カ所の避難所で数千人の避難者がいるためそれなりの量を買付けました。大雨の警報が発令され、当日中の輸送を断念しようと考えましたが、現地の毅史は村までのルートを往復し、安全に通行できることを確認。土砂崩れで通れない道が多く、山道を大きく迂回するルートで南阿蘇村へ向かいました。途中、神戸や京都から来ていた消防の車両数十台とすれ違いました。交代か、熊本南部のもっと被害の大きい地域でへ向かったのかもしれない。自衛隊車両もたくさんいました。日本中が支えようとしている姿を見て、とてもうれしくな



雨の中物資の搬入をする山崎栄慈さん



さいたまの子どもたちからの物資を自衛隊の協力を得て搬入する山崎毅史さん



村役場から要請のあった医薬品など



電気の無い体育館で、記録用写真撮影



避難所等で物資を配布する様子

ります。そして物資の集積所になっている、南阿蘇村立旧久木野中学校体育館(本年3月閉校)に、日が落ちる前に届けることができました。自衛隊員のみなさんに手伝ってもらいながら搬入し、受付をしてくれていた村の教育委員会の方々とお話をして、校舎は雨漏りがする状態で、学校が再開したとしても、すぐに元通りとはならない。何年も影響が出るだろうから、今後の子どもたちへの心のサポートが必要ということを知りました。遠くから、あ！冷えピタシート来た！？子ども用の薬あるね！という声が聞こえました。役に立てたのではないかと思います。

届けた支援物資を調達する際、支払い済みの段ボールの山の上に、見覚えのない箱がひとつ。あれ？っと思って近寄ると、店員の女性の方が、「それは私からです。」と言われました。被災地との電話のやりとりなどを聞いていたようで、自ら申し出てくれました。いたるところでたくさんのお気持ちをいただき、それを繋ぐお手伝いをさせてもらって、ほんとにありがとうございます。また翌日、車で移動の際、テレビニュースで、医薬品が足りないという避難所の情報が流れ、今度はトイレの消臭スプレーがほしいという避難者の声などが紹介されていて、どちらも昨日のうちに届け、今朝避難所で配布されているところまで確認していました。本当に、良い支援ができていたと思います。ご協力いただいているみなさまに本当に感謝いたします！

■ 4月22日(金)

桜区内小中学校からも募金が集まり、現地にいるメンバーで預かり、被災者のみなさまへ届けさせていただきました。たくさんのお気持ちが後押ししてくれていることを実感しました。ありがとうございます。すでに西原村では炊き出し活動が始まっています。NPO法人西原たんぽぽハウスさんと共同で、毎日数百人分の炊き出しを行う準備を進めました。交通網が断絶していること、水の確保が難しいことから、熊本方面での物資調達をあきらめ、南阿蘇から比較的行きやすい宮崎県の高千穂へ向かい、食材の調達を行いました。炊き出しの様子を想像しながら、被災者の方々に不足しがちなバランスの良い食事のために何が必要かを考え、野菜ジュースをたくさん購入しました。調味料や保存の効く主食を中心に、また、子どもの成長に必要なおやつにもなるように、保存



の効くおさかなソーセージも多めに購入しました。山道を越え、簡易の補修でどうにか通れるようになった道路を通り、崩れ落ちた家屋の横を通り抜け、西原村役場のとなりにある施設へ到着しました。スタッフさんたちが総出で、わいのわいのと物資の搬入が始まりました。カレーだぁ！！これよ！これ！レトルトじゃなくてこれがほしかったの！とカレールウに感激してくれました。また野菜ジュースがものすごく好評でした。あと、これはどうかな・・・と思っていたケチャップ1箱が、まさに必要だったようです。西原村はまだ水道が復旧しておらず、今後1カ月以上は水道が使えないとのことでした。なので、何をすることも大量の水を確保しながらの活動となるため、とても大変そうでした。すぐ隣には体育館があり、西原村の唯一の物資集積所になっていました。体育館の壁はところどころで大きく崩れ落ち、外からでも中の様子が見えるような状態でした。建物の損害は本当に深刻です。



その後、西原たんぽぽハウスさんによる炊き出しの様子



※日本財団からの助成を受けた炊き出し活動は、6月下旬まで行われ、その後もみなさまの応援を受けながら続けて行きたいと思っております。応援よろしくお願いたします！

サポーター募集!!

みんなの夢の音楽隊はみなさまの寄付で運営されています。郵便局から送金できる専用の振込用紙をご利用いただくか、クレジットカードをお持ちの方はホームページから簡単にお手続きができます。1回のご支援も、毎月継続のご支援もご登録ができます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。



パソコン・スマートフォンから
<http://yumeuta.com/codo/>

みんなの夢の音楽隊は認定NPO法人です

サポーター会費は税制上寄付扱いとなり、認定NPO法人に対する寄付として、所得税・法人税上の優遇措置が受けられます。詳しくはお近くの税務署、またはみんなの夢の音楽隊事務局までご連絡ください。